

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2012年 3月 29日

<p>テーマ名</p>	<p>クラウドコンピューティングに関する考察</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>企業内ITコーディネータ・ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号:03-6820-0777 e-mail: masaki_furukawa@e-it.co.jp</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号: e-mail:</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>インターネット経由で各種サービスを提供するクラウドコンピューティングは、その形態自体は特に目新しいものとは言えない。SaaSのようにインターネット経由で業務用アプリケーションを提供するASPは従来から存在するし、そもそも、ネットワークコンピューティングは既に様々なかたちでビジネスに浸透している。 ただ、クラウドコンピューティングにはSaaSばかりではなく、アプリケーションを実行するための“プラットフォーム”自体を第三者に提供するPaaS、更にはOSなども自由にインストール可能な仮想マシンやストレージといった“インフラストラクチャ”を提供するIaaSも含まれる。また、仮想化技術などを活用した大規模データセンターの構築に長けた企業が提供するクラウドに加え、企業内でのクラウド型システム構築(いわゆるプライベートクラウド)を行うサービスも出てきている。</p> <p>本研究会(ITコーディネータテーマ研究会:ITガバナンス研究会)では昨年度並びに今年度、この近年脚光を浴びているクラウドコンピューティングに注目して、研究テーマとして取り上げた。</p> <p>本年度は当初、一つの切り口から全員が分担して深掘りして研究を纏める形を指向したが、メンバー各位の希望する対象のベクトルが合わず、結局昨年同様個々のメンバーが独自で研究対象を定め、研究の結果を小論文に纏める形を採用した。</p> <p>メンバー個々人によって、纏め方が異なるため、統一感のある成果物にならなかった点については、御容赦賜りたい。</p>	
<p>成果物</p>	<p>メンバー9名がそれぞれ自主的な活動で学習し、毎月の定例研究会にて輪番制で研究成果の発表をしあい、且つ結果を論文に纏めることで研究会を進めたが、最終的には下記5メンバーが執筆した論文集として、「クラウドコンピューティングに関する考察」を脱稿した。 執筆者は以下の通り。 牧田 一雄(0052712005C) 千枝 和行(0029302004C) 古川 正紀(0005462001C) 滝沢 康(0012552001C) 坂本 徳明(0064952006C)</p>	

\* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2012/3/30</p>
<p>案件番号</p>	<p>S11006</p>